【1】 日刊（除月曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月19日 運輸省特別承認扱第684號

磐城日日

昭和27年（1952）3月29日（土曜日） 第499号

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人 長瀬芳郎

見習工募集!!
学歴中卒18才以上
身元確実で永續出来る意志強固な者
◎委細面談
小名浜町渚廻五一
長瀬印刷株式会社

七千二百萬の緊縮予算 滿場一致で可決

七日間の小名浜町會終る

第八百六十九回小名浜臨時議会は二十六年度歳入歳出追加更正豫算及び二十七年度歳入歳出豫算を主として約三十案件の審議を去る二十二日以來一週間に亘り新装の公民館に於て開催された

即ち二十二日議案總括説明、二十三日は日曜にもかかわらず翌二十四日と兩日に亘り各委員会を開き二十五日は水野町長の施政方針演説に引續き議案の總括質問、二十六日は午前總務午後は教育、翌二十七日の午前は經済午後は厚生、水道の合同委員会が行われていよいよ二十八日午前九時より採決本会議が行われたのである

定刻長瀬議長の開会宣言により先ず小野（務）工場誘致委員長の土地買收に関する經過説明があり特に電報電話局敷地買收に關しては三地主中の二名はすでに承諾及び承諾の線に近づいているが町會議員でもあり、また工場誘致委員である地主の飯塚新四郎氏が未だ交渉に應ぜざるは誠に殘念である、大乗的な見地で是非御協力願いたいと語れば飯塚議員は過去に於て私有地を相当数、町に對し提供しているが未だ解決をみないものが二件もある、かかる状態では該件も考慮せざるを得ないとれに對し小林議員は町當局にいきさつの説明を求めたが小野（務）議員は持てるものの惱み持てるものの因果でうらやましい限りである、過去の未解決は町當局が善處しまた飯塚氏は委員として工場誘致の趣旨に添い更に一歩進めて考慮を願いたい、過去の早急解決には不肖私共も協力を惜しまない、助役は未解決地の問題を説明、飯塚勝議員は町當局及び飯塚新議員兩者の該件に対する好意的解決の努力を促してこの件は打切りとなる

續いて行われた各委員会に於ける經過は菅原（總）比佐（経）木田（教）金澤（厚）の各委員長から報告あり、木村水道委員長公務出張不在、林副委員長病氣欠席により同委員の小野務議員が代つて報告、その内容中特に注目をひいたのは隣町江名が小名浜より給水を希望して居る將来のためにも町当局に実行方を希望しました

以上の各委員長の經過報告に対する質問は殆んどなく飯塚（新）議員が二三質問した程度で全議案に対する討論となつたが滿場一致で議案第一號の二十六年度町歳入歳出追加更正豫算（一千六百二十一万二百五十七円の増加）より第十七號迄を異議なく可決終つて齋藤議員登壇し、別項の如く水野町政のたゆまぬ努力と健全豫算編成に対して鄭重深甚なる感謝の辭を贈れば滿場拍手を以つてこれに和し連日の豫算審議の矢面に立つてやゝ焦慮の面持の水野町長以下当局者の顔にもさすがほつとじた安堵の色さえみえていた

續いて箱崎議員も二、三の要望事項を加えて豫算編成の勞をねぎらい、また飯塚（新）議員も水野町政健全豫算の功をたたえて一先ず終り、議案第十八號只見川電源開發に關する件、野崎港灣委員長提議の港灣修築立替工事促進の件の二つはいづれも町会として決議文を爲し、同決議を上司に送り激勵及感謝の意を表すことに決る

最後に代表小野幸次郎氏より提出の小名浜マーケットの借地変更並契約期間延長願の件は本年七月期間満了につき更に向う五ヶ年借地期間を延長尚現建物は小名川堤上にあるを東側に移轉し、現在の建物のところを道路とするというものなるが同問題は社会的にも重大故總務委員會に關り慎重を期すべしと金澤議員の提案に滿場同調して延々七日間に亘る躍進大小名浜の壱千六百二十一万二百五十七円の廿六年度の追加更正豫算及七千二百十七萬六千八百三十三円の減税考慮の廿七年度緊縮豫算は異議なく可決されたのである

時に午前十一時五十五分廿六年度最終小名浜町會は無事終幕を遂げた

滯納整理問題で 三瓶村長『たじたじ』

会期五日の泉臨時村会

泉村臨時議會は二十五日午前九時五十分より役場会議室に於いて開かれ会期を五日間として次の議案審議に入つた

【第一號議案】昭和二十五年度歳入歳出決算認定の件

【第二號議案】昭和二十六年度歳入歳出追加更正の件

【第三號議案】泉村消防團給與條例中一部改正に關する件

【第四號議案】泉村の議員等の報酬額及び費用辯償支給に関する條例中一部改正に関する件

【第五號議案】昭和二十七年度歳入歳出予算に關する件

【追加議案】瀧尻保育所備品等寄附承認の件

等であり第一號議案については會期中審議して認定することに決定、第二號議案は原案通り可決し第三號、第四號の議案については第五號議案と一括して審議することにして當局の説明を求めた

第五號の昭和二十七年度予算については各課長の説明を聽取し委員会にて審議することになつた、また追加議案として上程された滝尻保育所の寄附採納は異議なくこれを承認して第一日を終了した

第二日の二十六日は全議員出席の上各部門についての質問が行われ、滞納整理の問題では三瓶村長に各議員の鋭峰がむけられた

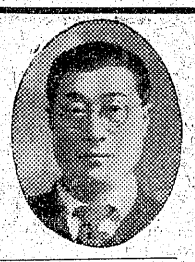
仝日午後の委員会に於いて歳入の説明を聽いた議員諸氏は村税徴收の件に入るや突如江尻（由）議員、三瓶村長に対して「徴税でまかない得ないか」と質問すれば沼田書記は「七五%の徴税で充分まかない得る」と云つたため佐藤（廣）議員より「七五%の徴税で間に合うものを何故にかくの如き税額を定めなければならないのか、初めから滞納を見越しての立案か」と当局につめよる、これに對して理事者側は前年度以前の滞納整理をなして行くから間に合うのだと答辯をなす、江尻（由）議員は「滞納を整理しないで村運營はどうして出來るか」また大津議員は「何故に滞納整理を行なわぬのか」と当局に對してきびしくつめよる、阿部議員も三瓶村長の不誠意を指摘し「滞納整理の具体案を示せ」と迫る等質問は一齊に村長にむけられる敬意を表するものであります

予算の内容に付いてはつぶさに検討致しました結果いずれも適正妥當であると認め當局のなみならざる努力と苦心に對しまして深甚なる敬意を表し二十七年度予算並びに二十六年度更正予算凡ての案件を承認するものであります

□ □ □

水野町政を讃える

齋藤誠吾議員



水野町政は去る二十二日並に二十五日の議會に於いて説明された如く、二十七年度の予算編成にあたつては歳入の見透しと民生の安定を考慮に減税を斷行し、事業を最少限に縮少した本予算を計上致したとの説明を拜聽致しまして理事者の高遠なる施策と不拔の決意に對し絶大なる敬意を表し、同調の感を深くするものであります、しかも町長は港灣の修築と工場の誘致は本町の二大施策であることを强調され、更に内港即ち漁港區の早期完成に全力を盡すことを表明されましたが、此の施策に対し本員は双手を擧げて賛意を表するものであります

漁業と海運の振興を無視しては町の發展、繁榮は期し得ないと信ずるものであります

然るに本町の漁業は七、八年來年毎に不振を重ねた

漁業經營は容易ならざる段階に來て居るのであります、此のような事になつた原因は一体どこにあるのかと申しますと第一は港灣の不完備であり、第二は極部的な潮流異變でありこの二つの原因から來て居るものであると斷じて間違いないのであります

小名浜港の現状は外郭の一部だけは出来たが内部の仕上は全く出来ていない港なのであります

從つて暴風の度毎に地元の船すら隣縣の鹽釜や石巻に避難する有様で逃げ遅れた船は風浪のために舷々相磨し大小破損し、はては難破し沈没し甚大なる損害を蒙つている実情であります、かような有様でどうして漁業や海運の繁榮が望めましようか、年毎に災害が重なつて現在のような漁業不振になつたのであると思うのであります、理事者は此處と思を致しもゞ内港即ち漁業などの急速完成を期し二十七年度に於ては五千五百万円の予算を以つて内港を完成させ、商港區の利用に一石二鳥の利益を量り、且つ五カ年繼續事業を以て商工區を修築し六千屯級三隻の横付を可能ならしめる計画を進めつつ、而も減税を斷行し町民の負担を輕減しつつ漁業海運の振興工場誘致、商工業の繁榮を量らんとする町長の構想施政方針に対し深甚なる敬意を表するものであります

警察消防の連絡懇談會

小名濱地區署

小名浜地區署管内警察、消防連絡懇談会は二十六日午後一時より小名浜地區署会議室に於て管内三町二カ村の消防團長及び同副團長參集のもとに開催された

協議事項は

一、警察消防援助協力協定について

二、火災現場の保持

三、警察消防事故に對する連絡協力方について

四、海水浴場の警戒について

五、其の他

特に海水浴時に於ける事故防止には鹿島村を除いた四町村は緊密な連繋のもとに萬全を期すことになつた

なお当連絡懇談會は昨年五月發足した福島縣警察消防共助協定（國警縣隊長、縣公安委員、市町村長並に消防關係者により構成したもの）の協定十一カ條を基礎とした條項を作り新に小名濱地區署管内警察消防共助協定を定め午後三時散会した

道路工事の入札（植田）

入遠野村大字上根本字大平地内水田～平線及び田人村入旅人地内皿貝～勿來線の道路開さく工事入札は廿七日午前十時より植田土木監督所に於いて行れた結果、入遠野村水田、平線延長二〇〇米は入遠野村鈴木久司氏、田人村皿貝～勿來線延八〇米は田人村大津新一氏に落札した

小名浜町表彰さる

供米、食糧増産で

小名浜町は昭和廿六年度供米優良者並に食糧増産優良として石城郡唯一の町村として今回表彰されることになり縣より通知があつた

明三十日福島市公会堂に於て表彰式が行われるが小名浜町内農家の努力の賜ものであり關係者のたゆまぬ督勵協力にあつたもので町當局も各關係者に對して感謝しているなお個人では勿來町の北郷行雄氏が郡内唯一人表彰を受けることになつた

井出事業課長退職す

植田町營林署事業課長井出忠義氏は今回退職したが後任には前橋營林局作業課勤務志賀恒雄氏が赴任した

井出氏は營林事務にたづさわること十二年の長期に亘り二十四年植田町營林署に着任以來、其の温和な性格と責任感の强い点など署内は勿論、町民より信望あり今回の退職は惜しまれている

パンと洋菓子
新高パン店
湯本駅前
電話236番

大黒屋
平本支店・湯本支店
月末29日 30日 土日奉仕
昭和26年度決算最後の土日奉仕は大黒屋獨特の特別大奉仕です
奉仕品は内店頭陳列に発表
中學生高校生制服大賣出し
ゆかた第一回新柄發表會
春物メリヤス肌着陳列奉仕
春の服地 ノジラーセ フサカ 新色新値奉仕
皆様の利益を護る店

第三種郵便物認可　新聞定價 一カ月60円 一部賣3円（月曜休刊）　磐城日日　昭和27年（1952年）3月29日（土曜日）　【第499号】

五萬圓の受領證は頭初 八代氏個人の名儀

引續き小名濱署に留置

去る二十七日午前十時、公金横領の疑で小名浜地區署に任意出頭の形で召喚された鹿島村長八代義定（六二）氏―同村大字御代字九反田三九―は取調べの結果事實を認めたので逮捕、同署に留置され引續き取調中であるが問題の起りは鹿島村大字下倉持、上倉持より江名町に通ずる道路のこの改修に端を發しており、仝字土井某、佐藤某の兩氏は改修費の資金確保のため縣知事及び土木監督所長宛陳情書を提出する反面、小野義一縣議を通じて縣に陳情した結果、十万円の予算を獲得することが出來たが、たまたま該道路が江名町にも關係があるため奬勵金として五万円を江名町より受領したものであるところが八代村長は昨年七月ごろ茨城縣磯原町山海館に於いて吏員約十五名に慰勞のためと五萬圓の内二万円を消費し更に道路改修費として一万圓を費消、残金二萬圓を所持していたものであるが江名町より五万圓受領の際八代村長は頭初村長名儀でなく八代個人の名儀で受領したため仝村有識者間にとかくの噂もあつたいわくつきの金で目下湯本並に小名浜との合併問題が起きているときだけに注目を惹いている

獨航船の割當決る

四港に一隻宛配分

漁業關係者の注目をあびている北洋サケ・マス漁業は去る十六日東京永田町衆議院第三會議室に於て審議され獨航船は五十隻（内地二十五、北海道二十五）と内定したが本縣では割當てられた四隻に対し去る二十六日午後一時より平市石川亭で適格船所有船主並びに關係者の參集を求め打合せを行つた

今年のサケ・マス漁業は三船團（日水、日營、大洋）と内地組合二十五隻（青森四、岩手一、宮城八、秋出一、山形一、福島四、新潟一、富山一、石川一、神奈川一、千葉一）北海道組合二十五隻の五体からなり、各体の出資によつて試驗的に操業するが、福島縣に割當られた四隻の内譯は小名浜一、中の作一、江名一四倉一と配分が決定したこの獨航船は資格として五〇～七〇屯の漁船で無線竝びに方探を具備し機關はデーゼルでなければならない、このため小名浜漁業協同組合では三十七日午後二時より仝組會議室で関係者參集の上出資額及び獨航船等の決定打合せ会を開いた

小名二中の合格者

百一名で九〇%

小名浜第二中学校の今春上級學校進学者は卒業生のうち百二十五名であつた、去る二十五日の各校の發表によると合格者は百一名で十名が振落されたが昨報小名浜一中と同じ九十%の好成績をおさめた

平市内高校への合格者は次の通りである

【磐高】＝藤野尚之、宮下修一、柴田寛敏、岡護、江尻達次郎、佐藤襄、比佐勇、濱野誠之、加藤忠木田磐雄

【平商高】＝藤田好宏、小松愼吾、小野忠、鈴木禮次郎、吉田昭、大谷佐二郎、長谷川秀雄

【磐女高】＝曾我末榮子、佐藤節子、小松玉江、鈴木君江、西丸眞子、坂本政子、渡邊惠美子、石川博子

【平工高】＝小山惠清、永山仁一、馬目正、草野省二、石井祥一、蛭田三千人、会川文夫、馬目弘平金成力、野崎宏、田村三男、志賀功一、齋藤勉

小濱に鯨の迷子

吉兆と漁師は大喜び

二十四日正午ごろ植田町の小浜海岸に瀕死の「クジラ」が漂流しているのを地元の漁師が發見、植田町魚庄赤津馬次郎さんに連絡應援を得て、約三時間かゝつて引き揚げトラックにて魚庄と赤津さんの店頭に運んだところ「クジラ」を見たことのない人々がどつと押しよせ大賑わいを呈したこの「クジラ」長さ四米重量は約百貫ありイワシを追つて小浜港に入り岩壁に頭を打ちつけた？ものらしく小浜の漁師達は今年の漁は幸先きよしとばかり喜んでいる

保健所設置の協議會

既報植田町自治署廳舍を保健所に衣がえすることについての程漸く具体案がなり、明三十日植田役場會議室に菊多地方三町七ケ村の町村長が会合して協議を行う

農改推進員の大會（平）

石城地方農業改良推進員大會は來る四月一日午前十時より平市公會堂日本間に於て郡内各町村推進員全員參加で開催されるが、当日の協議事項は

一、農業改良普及事業と推進員の活動について

一、休驗發表（各町村推進員による）

一、推進員の表彰

其の他であり盛會が豫想されている

湯本在町校 校名を變更

湯本町議会は二十七日全議案を可決されたが四月一日の各校入學式を前に學校名を次のように變更された（カッコ内は舊校名）

湯本第一小学校（湯本小學校）湯本第二小學校（常磐小学校）湯本第一中学校（湯本中学校）湯本第二中學校（常磐中學校）

磐崎中学入学受付け

磐崎村立中学校では二十六日午前十時から入学受付けを行つたが同校の新入生は二百五十四名で昨年より二十八名の増加となつた、なお各校別に見ると次の通り

磐崎小＝男三三名、女三三名、藤間小＝男二〇名女一六名、長倉小＝男七五名、女七八名

第六榮福丸消息絶つ

二十七日午後五時小名濱海上保安部に入つた情報によれば江名町中ノ作澤万次郎氏所有第六榮福丸（五三トン）＝船長小松萬助氏外二十七名乘船＝は去る廿四日午前九時宮城縣唐桑港から漁場に向かつて出港したがその後消息を絶ち小名浜無線局では沿岸各港に照会中なるも今もつて判明せず遭難したのではないかと氣遣われている

天氣予報 29

【本日】北西のち南寄りの風、朝のうちはよい天氣ですが次第に曇勝ちとなり天氣は下り坂になります

魚菜市況 28

【小名濱中央青果市場】

大根一〇～二〇牛蒡五五～七〇人蔘二〇～二五さつま五三～五五馬鈴薯六七～七〇切干一二〇ふゆ菜二〇～二五ねぎ一五～二五ほうれん草二六～六五椎茸六〇〇あぶらな一ワ〇、三〇～一葉玉ねぎ一ワ三、八〇～四、五〇卵七～七、七〇

【小名濱魚市場】

なめた四二五さめさ一八〇たか四一〇～四二〇たと二五〇～二八〇きまつ六六〇ぬけ三一〇～三三〇たら二三〇小あか一八一唐八一〇〇

高等学校入学 試驗問題（三）

第二部（その一）

1　次の計算をして、答を［　］の中に入れなさい。

答のうちで、分數になるものは、最も簡單にしなさい。

(1)　$5 + 12 \div 4 =$ 8

(2)　$\frac{5}{12} + \frac{1}{4} =$ $\frac{2}{3}$

(3)　$3\frac{5}{6} + 2\frac{2}{3} =$ $6\frac{1}{2}$（又は $\frac{13}{2}$）

(4)　$\frac{7}{15} - \frac{1}{3} =$ $\frac{2}{15}$

(5)　$\frac{3}{5} \times 7 =$ $4\frac{1}{5}$（又は $\frac{21}{5}$）

(6)　$1\frac{2}{5} \div 2\frac{1}{5} =$ $\frac{7}{11}$

2　次の式の［　］の中に答を入れなさい。

(1)　$5A + 3A =$ 8A

(2)　$15 \times 12 + 15 \times 8 = 15 \times$ 20

(3)　$9.5 \div 3.6 =$ 2.6　あまり 0.14

（商を小数第一位まで求め、あまりも出しなさい。）

3　三角形 ABC と三角形 A′B′C′ とは相似である。（圖表省略）

次の［　］の中に答を入れなさい。

(1)　B′C′の長さ ＝ 7 cm

(2)　∠C′ ＝ 45 度

4　これは四角すいの投影圖（平面圖、立面圖、側面圖）である。

次の［　］の中に答を入れなさい。（圖表省略）

(1)　四角すいの体積 ＝（底面積）×（高さ）× $\frac{1}{3}$

であるから、この四角すいの体積は 960 cm³ である。

(2)　側面積（底面積はふくまない）は 493.6 cm² である。

印刷の御用は 小名濱町 長瀬印刷所

◎電話新設お知らせ◎
この度左記の通り電話を
新設致しました
何卒御利用下さる樣
お知らせ申上げます
植田局 二七六番
根本家畜商 根本秀松 植田町本町

身も輕く　値段も輕い　春衣料
藤越の春衣料大奉仕

最上キャラコ　ヤール	90円	白綿Yシャツ	298円
上　〃　〃	80円	ポプリン箱入	345円
鐘紡繪馬　〃	75円	學生帽	150円
未晒金巾上級ヤール巾	78円	ランドセル	200円
大巾金巾	55円	學生服	
婦人服地	65円	セーラ服	

藤越 電561
セータは藤越の トルーマン型を どうぞ

汴射代用 ペナドリン含有の
せきの一服藥
ポール
是非一度お試し下さい
尚アメリカより輸入新殺鼠劑（ネズミだけが全滅する）
デスモア 入荷しました
定價六十圓
新驅虫劑なら
マル斗藥房 小名浜町西町 電一一五